

●中小企業支援



●子育て支援



●防災対策



●地域交通の充実



# <2019年> 横浜市予算

# 市民の声が市政を動かす

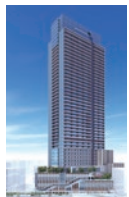
1月28日から開催されていた横浜市会第1回定例会は、3月19日、林文字市長が提出した一般会計予算案をはじめとした予算関連議案すべてが自民、公明、民権フォーラムの与党会派の賛成で可決・成立し、閉会。日本共産党は、自民党言いなりに大

型開発の突出、大企業呼び込みの補助金の大幅振る舞い、その一方で国保料の引き上げ、学童クラブ運営費加算の削減、中学校給食の未実施など市民生活を顧みない安倍自公政権追随型の予算案は認められないと反対。

## 大企業だけが恩恵を受ける アベノミクス持ち込み予算はノー

安倍政権は、「国際競争力の強化」「世界で一番企業が活躍しやすい国」を掲げて、大型開発、規制緩和を地方に押し付けています。予算案では、新市庁舎420億円、高速道路332億円、国際コンテナ戦略港湾135億円、自民党市議がカジノ誘致先と名指しする山下ふ頭開発82億円、外国人むけの国家戦略特区住宅の超高層マンションや運河埋立によるマンション用地

造成などの都心部開発に97億円、大企業誘致助成金21億円など大型開発優先、大企業優遇が際立っています。安倍政権いいなりによって、市民のために使われる予算は少なくなるばかりです。日本共産党は転換を求めました。



鶴屋町外国人向けマンション

総事業費見込み1000億円の新しい庁舎

## 4年連続の 国保料の引き上げは暮らし破壊

横浜市の国保加入世帯は、所得階層200万円以下が82%を占めています。医療費が増えると保険料が上がる仕組みでは、収入の少ない方たちにとっては、即、生活破壊につながります。市

として、国民健康保険料が引き上がらないよう均等割廃止など抜本的な制度見直しを国に求めることを要請。林市長は、制度の見直しを強く要望していくと答弁。

## 日本共産党

### ▶予算組替動議を提出

予算組み替え動議は、不要不急の大型公共事業や特定企業を利する再開発事業を見直して財源を生み出し、中学校給食、35人学級の拡大、低所得者むけの成績要件のない高校奨学金創設、高齢者むけの市営住宅建設等を実施、及び国保会計の基金を取り崩して国保料の引き上げをストップするというもの。賛成少数で否決に。

### ▶中学校給食、敬老パスに関する請願 採択を主張

年金者組合からは「子どもたちだれもが健康で楽しく暮らせるよう中学校給食を実施すること」「高齢者が元気よく外出し、楽しく生活し地域が活性化させる大切な条件である敬老特別乗車証の値上げは行わないこと」の二項目、生活と健康を守る会から「生活保護基準引き下げ中止の意見書」を求める請願が出されました。いずれも共産党は採択を主張、自民、公明、民権フォーラムの賛成を得られず、不採択に。

### ▶原発ゼロへ 再生可能エネルギー導入促進条例案を提出

横浜市の地球温暖化対策は、国に追随し事業者まかせ、市民まかせの域を出ず、極めて不十分です。その打開をはかるには条例化が不可欠です。

条例案は否決でしたが、全会一致で「持続可能な脱炭素社会の実現を宣言する決議」が可決。決議は、「温室効果ガス排出ゼロを達成するためには…再生可能エネルギーの導入…が不可欠になる」と明記しています。条例案の提出が決議につながったと云えます。

## 市民と力あわせ前進した施策

### 【中小企業支援・市内経済活性化】

●小規模事業者向け融資枠 230億円計上

### 【介護・高齢者分野】

- 介護人材の確保予算 2.4倍化、研修の拡大と住居家賃補助
- 特別養護老人ホーム着工数を前年280床から449床と増
- 敬老パスの継続

### 【地域交通の充実】

●地域住民主体でミニバス等を運行する地域交通サポート事業の車両代への直接補助新設

### 【子育て支援】

- 小児医療費助成（通院）の対象、中3へ拡大
- 保育所待機児童解消策として受け入れ定員を2199人拡大、うち認可園は1643人分
- 学童クラブへの設置・耐震基準達成に向けた支援策拡充
- 高校奨学金支給人員の拡大（1160人→1500人→2000人/2021年）

### 【防災・減災対策の強化】

- ブロック塀の撤去・新設補助（857件 4.1億円）
- 地域防災拠点の備蓄の充実・更新予算 1.4億→3.4億円に増額
- 防災スピーカー 42基増設

### 【再生可能エネルギーの促進】

- 党市議団の条例提案にそって再生可能エネルギー利用計画を策定
- 全会一致で「脱炭素社会実現宣言」決議が採択

### 【平和事業】

- 全会一致で成立した国際平和推進条例をうけて、平和関連予算8倍化

横浜市会議員 団長 南区選出

あらき  
由美子 荒木ゆみこ

日本共産党



<プロフィール> ●党横浜市議団長 5期目 ●政策・総務・財政常任委員 ●元保育士 ●現役の消防団員 ●1959年生まれ ●県立清水ヶ丘高卒（現 横浜清陵高） ●京浜女子大（現 鎌倉女子大）家政学部児童学科卒 ●六ツ川台団地在住